

第4回 にかほ市地域公共交通活性化協議会

日 時 令和2年2月7日（金）

午後1時30分～

場 所 にかほ市象潟庁舎 大会議室

次 第

1. 挨拶

2. 議事

議案第1号 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

・・・資料1

報告第1号 コミュニティバス利用者アンケート集計結果について

・・・資料2

報告第2号 バスの乗り方教室事業報告について

・・・資料3

その他

3. その他

第４回にかほ市地域公共交通活性化協議会 出席者名簿

区分	No.	所属	職名	氏 名	出欠
1号	1	にかほ市	副市長	本 田 雅 之	○
2号	2	東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社 総務部 企画室	副課長	清 水 大	△
	3	羽後交通株式会社 営業本部	営業担当次長	平 元 久 雄	△
	4	合資会社 象潟合同タクシー	事業部長	須 藤 智 和	○
	5	株式会社三共サービス	運行管理者	齋 藤 一 矢	○
3号	6	東北運輸局 秋田運輸支局	首席運輸企画専門官	長 澤 秀 博	×
	7	秋田県 観光文化スポーツ部 交通政策課	地域交通対策監	橋 本 裕 巳	×
	8	秋田県由利地域振興局 総務企画部	地域企画課長	高 橋 新	○
	9	東北地方整備局 秋田河川国道事務所	調査第二課長	長濱谷 和 典	△
	10	秋田県由利地域振興局 建設部	次長	鎌 田 利 彦	○
	11	にかほ市 農林水産建設部	部長	土 門 保	○
	12	由利本荘警察署	交通課長	佐 藤 智 紀	○
4号	13	にかほ市自治会長連絡協議会	会長	大 橋 次 雄	○
	14	秋田県生活対策県南・由利ブロック協議会委員	象潟地区	佐々木 正 行	○
	15	象潟自治会長連絡協議会	上郷地区	齋 藤 正 照	○
	16	金浦自治会長連絡協議会	大竹地区	今 野 扇 一	○
	17	仁賀保地区自治会代表会	小出地区	鈴 木 清 貴	×
	18	仁賀保地区自治会代表会	釜ヶ台地区	荘 司 友 勝	○
	19	公募委員		浅 野 敏 子	○
5号	20	にかほ市商工会	副会長	齊 藤 秀 雄	○
	21	一般社団法人にかほ市観光協会	会長	辻 正 美	○
	22	にかほ市社会福祉協議会	副会長	三 島 清	○
	23	にかほ市老人クラブ連合会	会長	佐 藤 杢 六	○
	24	にかほ市地域婦人団体連絡協議会	会長	金 子 尚 子	×
	25	にかほ市PTA連合会	会長	小 川 京 子	○
6号	26	秋田県立大学	准教授	嶋 崎 真 仁	×
7号	27	にかほ市 商工観光部	部長	佐 藤 豊 弘	○
	28	にかほ市 市民福祉部	部長	阿 部 聖 子	○
	29	にかほ市 教育委員会	教育次長	齋 藤 一 樹	○
事務局		にかほ市 企画調整部 まちづくり推進課			

※“△”は、代理出席者

(随 行 出 席)

2号	3	羽後交通株式会社 輸送課	課長補佐	金 谷 文 之	随 行
2号	4	合資会社 象潟合同タクシー	運行管理者	鈴 木 芳 一	随 行
3号	12	由利本荘警察署 にかほ幹部交番	交通係長	工 藤 勲	随 行

第4回にかほ市地域公共交通活性化協議会
会 議 録

(午後1時30分開会)

事務局 (佐藤まちづく り推進課長)	皆様お疲れ様でございます。ご案内の時間になりましたので、ただ今から令和元年度第4回にかほ市地域公共交通活性化協議会を開会致します。 はじめに委員の出欠状況についてであります。お配りしている資料の3ページをお開きください。 若干変更がございますので、予め説明申し上げます。5番の株式会社三共サービス様、代理出席で専務の安倍さんから出席いただいております。名簿6番の東北運輸局秋田運輸支局の長澤さんが急遽欠席となっております。名簿19番、公募委員の浅野さんですが、若干遅れて出席いただけると連絡が入っております。名簿25番、小川さんが出席いただいておりますので修正をお願いします。 それでは、開会にあたりまして会長であります本田にかほ市副市長がご挨拶申し上げます。
本田会長	皆さんこんにちは。会長の本田でございます。 今日は天候のすぐれない中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。並びに当協議会の運営につきましてもご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。 さて、今年はオリンピックイヤーということで、日本を訪れる外国人の方も大変増えるのかなと期待していたところでしたが、そんな中で新型コロナウイルスが発生しまして、これがどう収束するのか先が読めない状況でございます。しかしながら、順調にオリンピックが開催されると想定しますと、にかほ市にも外国人の方が訪れてくれると思います。そうした方々が増えるとかにかほ市における交通や消費、宿泊といった色々な変化も出てくるのかと思います。ご存じのとおり昨年の消費税増税に伴う、キャッシュレス決済の導入はその一つですが、県内、市内でもキャッシュレス決済による5%還元などが普通に見られるようになってきたと思います。 先般の新聞等でもご存じかと思いますが、羽後交通様や秋田市内のバスにおいてもキャッシュレス決済が試験的に始まったという情報を見まして、ここまで来たのかなと感じております。思えばバスの中で小銭を出したり、落としたりといった不便もありました。バスが走っている中で両替をしようと席を立ちバスの運転手さんに怒られたこともありました。なので、キャッシュレスの普及というのは、安全や定時運行にも効果的なのかなと思ったところでもあります。当市の交通については、まだもう少し時間がかかると思いますが、にかほ市には、にかほ市に合った公共交通の姿があると思いますので、この協議会で議論いただければ有難いと思います。 また、今日の資料にありますチラシに、今年の1月ですが宝島社か

	ら出版されております、田舎暮らしの本に、住みたい田舎ベストランキングというものがありますが、にかほ市が昨年に続きまして上位にランキングされまして、総合部門の東北エリアでは第４位にランクインしました。これも皆様のご尽力の賜物と思っております。移住定住の推進に積極的な全国の市町村を対象に６２９の自治体から集めた回答を元に集計されているということで、このランキングを来年以降も維持できるように今後も頑張っていきたいと思えます。 本日の協議会ですが、皆さんから色々な意見を頂戴したいと思えますのでどうぞよろしくお願い致します。
事務局 (佐藤まちづくり推進課長)	ありがとうございました。 これからは議事の審議となりますが、規約第９条第１項の規定により、会長が議長となりますので、このあとの進行につきましては、会長よりお願い致します。
本田会長	それでは、私がしばらく議長を務めさせていただきますので、どうぞご協力をよろしくお願い致します。 まず始めに、本日の会議ですが、出席頂いている議員の人数は現時点で２４名となっております。過半数に達しておりますので、規約第９条第２項により、会議は成立しておりますことをご報告致します。 それでは議事に入ります。２の議事の議案第１号「令和元年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について」事務局より説明をお願い致します。
事務局(まちづくり推進課越川副主幹)	事務局説明
本田会長	ありがとうございました。それでは、ただ今の議案第１号について、ご質問やご意見、確認事項等ございましたらお願い致します。
	～質問無し～
本田会長	質問が無いようですので、議案第１号については、ご承認ということでよろしいでしょうか。
	～異議なしの声～
本田会長	ありがとうございます。 それでは議案第１号はご承認とさせていただきます。 次に、報告第１号「コミュニティバス利用者アンケート集計結果について」事務局より説明をお願いします。
事務局(まちづくり推進課越川副主幹)	事務局説明
本田会長	ありがとうございました。それでは、事務局から説明がございました報告第１号「コミュニティバス利用者アンケート集計結果について」ご意見、ご質問、確認事項等ございましたら、何なりと手を挙げて発言をよろしくお願い致します。

佐藤（杢）委員	13ページのアンケート集計に、地域によっては0の地域もありますが、バスに乗っていてもアンケートを提出しなかったのか、それともその地域の人が乗っていなかったのかどちらだったのでしょうか。
事務局(まちづくり推進課越川副主幹)	年齢の20歳代が0人の部分は、車の利用が中心でバスの利用は無かったのかと思います。地域で0人は、羽後交通様の路線バスが走っている地域で、コミバスの利用が少ない地域でもありますし、アンケート調査期間は利用が無かったと思います。また、アンケートをお願いしても拒否する方もいらっしゃいましたし、記入の途中で下車するバス停に着いた場合、返信用封筒を渡して後日郵送できるようにしておりますが、返信されていないアンケートもあります。
本田会長	他に何かありますでしょうか。
齋藤副会長	乗降の場所についてですが、コミュニティバスはバス停以外でも乗り降りできて、60人ほどがバス停以外で乗り降りしてますが、高齢化が進んで危険性もありますし、ドライバーも大変だと思いますのでなるべくならバス停で乗り降りしてほしいと感じました。 しかしながら、バス停以外で乗り降りできるのが、コミバスなので十分注意しながら利用してほしいと思います。
事務局(まちづくり推進課越川主査)	コミバスは路線上であれば乗り降りできますが、やはりドライバーの方は、手を上げるのを注意深く見ていないといけませんし、降りるときも、利用者は自分の降りたい所で、押しボタンを押しますが、交差点や線路の付近などは、乗降はできませんので、お互いに安全に乗降できるように、利用者の方からも降りたい気持ちはわかりますが、数メートル移動して安全に降りれる場所で降りてもらいたいですし、運行事業者様と周知に努めたいと思います。
本田会長	よろしいでしょうか。他に何か今の関連でも結構ですし、新しいご意見でも結構ですがありますか。
鎌田委員	アンケートの14ページになりますが、運転免許証の有無のところで、もともと運転免許証を持っていない方の利用者がすごく多く驚きましたが、運転免許証を返納している人も少ないし、地域性かはわかりませんが、こういう結果を見たときに、運転免許を返納してもバスを利用する人は少なくなってくるような印象ですが、事務局はどのように考えているのでしょうか。 もうひとつ、運転経歴証明書の有無は、こういった理由なのか。
事務局(まちづくり推進課越川副主幹)	運転免許証の有無につきましては、無料バスの対象者で一番多いのは75歳以上高齢者ですが、75歳以上と言いましても、実際利用されているのは、80歳以上や90歳前後の方が多く、その中でも女性が多いので、その年代の女性の方は、もともと運転免許証を持っている方は少ないといった結果につながるのだと思われます。 あと、運転免許証を返納した方の、運転経歴証明書の有無については、運転免許証を返納する際に運転経歴証明書を発行してもらうと、証明書を提示することによって、店舗等で様々なサービスを受けられる場合がありますが、サービス等が必要ない方は、運転免許証を返納

	して終了ということになります。 75歳以下の方で運転経歴証明書を提示して無料でコミバスを乗車する方もおりますが、運転経歴証明書を発行しない方もいるようでした。
佐藤課長	補足をさせていただきます。 にかほ署管内で運転免許証を返納されている方を確認しておりますが、令和元年中(1月～12月)で、免許証を返納した方の人数が101人います。こういった方々がいかいにコミュニティバスを利用いただけるようになるのか、そういったところも更にPRをしていかなければならないと思っております。ここ数年、100人程度は免許を返納している方がいるようですので、ご自身で運転できなくなった方も増えているのも事実でありますので、いかにそういった方々に利用していただくのかも併せて考えていかなければと考えております。
本田会長	確認ですが、75歳未満の方でも運転免許を返納して、経歴証明書を持っていれば、コミュニティバスを無料で利用できるということになりますね。
事務局(まちづくり推進課越川副主幹)	はい。75歳未満の方でも運転経歴証明書を発行してもらい、コミュニティバス乗車時に提示する無料で乗車できますし、無料パスも発行することができます。今後、運転免許を持っている方で、運転ができなくなりコミバスを利用する人は増えてくるとは思いますが、自動車の安全性能もすごく進化しておりますので、高齢になっても長く車を運転できる条件も増えてきています。そういった中で、どれだけの高齢者がコミバスに移行してくるのかは、こちらでも判断が難しいと思います。
本田会長	ありがとうございます。他によろしいでしょうか。
佐藤(豊)委員	18ページのアンケートの欄で、上郷の80歳代の方と60歳代の方が、象潟病院を回ってほしいといった意見や、象潟病院で長く待たされるといった意見がありまして、9ページの上郷小滝線の時刻表を拝見しますと、西本郷から象潟病院前を通って本郷に通じる便と、象潟病院を経由しない便がありますが、この部分を80歳代の方は回ってほしいと言っているかと思われませんが、象潟病院から歩いて行ったところに元滝伏流水という滝がありまして、観光客が元滝伏流水に行くには、象潟病院までコミュニティバスが行ってもらうと最適なルートになりますので、本来の公共交通とは違うかと思いますが、今後、機会があればぜひ検討していただきたいと思います。
事務局(まちづくり推進課越川副主幹)	このショートカットについては、利用者数の関係もありますが、上郷小滝線はジオパークの観光客が利用している状況となっていますので、今後相談はしていく必要があるのかと思いますが、今の利用を見ますと、奈曽滝前のバス停から降りて元滝までトレッキングしながら歩いて行っているようですので、その部分も考慮しながら検討していきたいと思います。
本田会長	ありがとうございます。

	他に何かありますでしょうか。
	～特になし～
本田会長	他に無いようですので、報告第1号「コミュニティバス利用者アンケート集計結果について」の報告を終了いたします。 次に報告第2号「バスの乗り方教室事業報告」について、事務局の説明をお願いします。
事務局(まちづくり推進課越川副主幹)	事務局説明
本田会長	ありがとうございます。それでは、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ございましたら、よろしくお願い致します。
委員	はい。
本田会長	ありがとうございます。 それでは続きまして、議案の第3号「田抓バス停留所の追加設置要望について」事務局から説明をお願い致します。
事務局(まちづくり推進課越川副主幹)	事務局説明
本田会長	はい、ありがとうございます。 これについて、皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いしたいと思います。
	～特になし～
本田会長	他に無いようですので、報告第2号「バスの乗り方教室事業報告」についての報告を終了いたします。 本日の議事、報告事項についてはすべて終了しました。次にその他となりますが、冒頭の挨拶でも触れさせていただきましたが、羽後交通様のキャッシュレス決済の実証運行について、使用方法等をご紹介いただきたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。
平元委員	一週間程前、テレビや新聞等で報道されましたバス運賃のキャッシュレス決済について説明したいと思います。その前に実証実験に至った経緯をお話しさせていただきます。 現在、全国的に電車、バスなどの運賃のキャッシュレス決済といえ、スイカなどの交通ＩＴ決済が主流となっております。このシステムの導入には1億単位の設備投資がかかるわけでございます。初期投資には一部助成はあるものの、ランニングコストや保守費用は自前となります。ほとんどの路線で利用者が減少している中でこのシステムを導入するということは、費用対効果が見込めないのではないかという判断をしているところでございます。 また、仮に導入した場合、100%が一般乗合の専属経費となるために、当然、当社負担も多くなるわけでありすけれども、市町村の補助金に大きく影響するわけでありす。そこで、低コストでキャッシュレス決済が可能となるものが開発されたということで、当社がい

	ち早く飛びついたというわけでありました。利用については、テレビ取材にも対応した金谷が説明いたします。
羽後交通 金谷	新聞やテレビ等にけっこう取り上げていただきましたので、ご覧になられた方もいらっしゃるかと思いますけども、1月24日からQRコードを利用したスマートフォン上で、バスの運賃が決済できるという実証実験でございまして3月31日までの予定となっており、ご利用方法は今お手元にお配りしましたチラシに簡単に掲載しておりますけども、アプリを利用しておりますので、こちらへの登録が大前提になります。名前や年齢等の個人情報を登録していただいて、一番の壁がクレジットカードの登録が必要になります。 クレジットカードで買い物をしていただくイメージになりますが、バスに乗っていただくときに普段通り整理券を取って乗っていただきますけども、乗っている最中にアプリを起動していただきますと、バスの車内にこのアプリのQRコードがいっぱい貼られています。それを読み取りますと、乗った停留所と降りる停留所を選べるようになります。そちらを選ぶと自動的に運賃が出てくるということになります。そして降りる時にその画面と整理券を運転手に見せると運転手も区間運賃を確認できますので、双方で確認して決済ボタンを押して決済になるといった流れになります。 今回の実証実験は大仙市と横手市を結ぶ大曲横手線という路線と、大曲のバスターミナルからイオンモール大曲までを運行しております2路線だけで行っております。 にかほ市からは距離がありますので、にかほ市の皆さんに使ってくださいというのは言いづらいのですが、大曲近辺に知人がおりましたら、チラシにもありますがアンケートに答えていただくと特典がありますので、ぜひおすすめしていただきたいと思います。
本田会長	ありがとうございます。ただいまキャッシュレス決済実証事業についてご説明がありました。何か皆様から質問等ありますでしょうか。
	～特になし～
本田会長	キャッシュレスについてはこれからあらゆるところで、これから進展していくと思いますので、良い結果が出ることを期待しております。 それではこれをもちまして第4回にかほ市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。お帰りの際は、事故等に十分ご注意くださいようお願いします。本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。ありがとうございました。

(午後2時33分開会)